

秋の野山を彩る鮮やかな瑠璃色の花 「リンドウ」が見頃です

阪神電気鉄道株式会社(本社:大阪市 社長:藤原崇起)のグループ会社である六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:岡本交右)が、六甲山上で運営を行っている六甲高山植物園では「リンドウ」が見頃を迎えています。

六甲山の近頃の平均気温は約18度。園内には冷たい風が吹き抜け、差し込む光が暖かく感じられるようになりました。そんな中、園内では秋の野山の代表である「リンドウ」が園内を彩り、秋の訪れを感じさせています。



■リンドウ(リンドウ科)

晩秋の野山を彩るのに欠かせない存在のリンドウは、日当たりのよい草原や丘陵地に生える多年草です。切り花によく用いられているものは、“エゾリンドウ”という花が輪状になって咲くものです。「リンドウ」は、筒状の花がとても鮮やかな瑠璃色で、晴天時のみ開きます。その透き通るような美しさに、思わず吸い込まれてしまいそうです。

葉草としてもよく知られており、根茎と根を乾燥させ古来より中国、日本で苦味健胃薬に使われていました。

当園に咲く「リンドウ」は、現在見頃で、10月下旬までお楽しみいただける見込みです。

紅葉情報

今年は何年に比べ、1週間ほど早く木々が色づき始めており、現在、イヌブナとシラキが見頃を迎えています。

例年では、10月中旬より色づき始め、その後イロハモミジをはじめとするカエデ類、ツツジ類、シロモジ、コアジサイ、カラマツ高山植物といった様々な紅葉木が色づきます。また、紅、橙、黄と様々な色合いを楽しめるのが特徴です。

紅葉は、現在園内全体では色づき始めとなっており、見頃期間は10月中旬～11月中旬ごろとなる見込みです。



◆リリースに関するお問い合わせ先

六甲高山植物園

TEL:078-891-1247 / FAX:078-891-0137

〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【開園期間】3月21日(土・祝)～11月23日(月・祝)

【開園時間】10:00～17:00 (16:30受付終了)

【入園料】大人(中学生以上)620円/小人(4歳～小学生)310円